

12月25日にクリスマス会が行われました。会では病棟保育士による紙芝居やマジックなどがあり、たくさんの笑顔が見られました。

会の途中ではサンタ・ トナカイから、プレゼ ントが贈られ、栄養室 からクリスマスケーキ も届きました。みんな 大喜びで、楽しい時間 を過ごしました。

お知らせ

小児科病棟では2名の保育士が 勤務しています。急な入院の時 など、ご家族のサポートに努め ています。また、入院中のお子 様と一緒に遊んだり、楽しいイ ベントの企画もしています。

小松 真史 先生

秋田県肝疾患診療 連携拠点病院

日本の肝がんの原因と対策

我が国の肝細胞がんの原因には大きな特徴があります。それは約8割の人がC型か、B型肝炎ウイルス陽性者であることです。このことはC型かB型肝炎ウイルス陽性者に対し有効な対策を行うことができれば肝がん死を激減させることができることを示しています。

その対策として、一つは検診などにより各自が肝炎ウイルスを保持 しているか否かを知ること、二つ目は肝炎ウイルス陽性者は医療機関 を受診し適切な診療を受けることです。

■肝疾患診療連携拠点病院

肝炎ウイルス陽性者は自覚症状のないことが多いため、採血検査を受け各自が肝炎ウイルスを保持しているか否か知る必要があります。 平成14年から18年までの5年間肝炎ウイルス検診が40歳以上を対象に行われましたが、検診を受けた人は約3割と少数でした。さらに、肝炎ウイルスの陽性が判明した人でも医療機関を受診しない人、受診しても専門医療機関でないため有効な治療がなされていない人が半数以上でした。そのため、国は各県に肝炎診療の中心となる肝疾患診療連携拠点病院の設置を決め、秋田県では市立秋田総合病院と秋田大学附属病院の2つの医療機関が認定されました。拠点病院では肝疾患に対する専門的な診療、他の医療機関との連携や情報提供を行うとともに、肝炎相談センターを設置し一般県民の相談にお答えするため直通の電話 (018-883-0506) を設置しています。

肝炎治療の進歩

肝炎診療の進歩によりC型肝炎ではインターフェロン治療を受けた人の6割以上が治癒し、B型肝炎でも良好な状態で管理することができるようになりました。さらに新しい治療法の開発も進んでいます。採血にて肝炎ウイルスの有無を検査すること、陽性者は専門医療機関を受診し適切な治療を受けることが肝がんの発症を予防するとともに、秋田県の肝がん死を激減させることができます。

ウイルス性肝炎外来のご案内

当院では、平成20年3月 5日にウイルス性肝炎外来を 開設しました。

現在、B型、C型等の肝炎 ウイルスでお悩みの新患の方 を対象に、肝臓疾患の専門医 が診察します。

対 象	B型肝炎、C型肝炎患者(新患)
診 察 日	毎週水曜日 午後2時~午後4時
予約方法	月曜日から金曜日(祝祭日や年末年始を除く)の午前8時から午後3時まで、電話予約センターで受け付けます。 直通電話 018-867-7489

問い合わせ先		
事 務 局	電話 018-823-4171 (内線 2167)	

すい炎という病気を震力ですか?(後編)

外科 医長 古屋 智規 先生

前回は、「重症急性膵炎」という恐ろしい病気があることをお話ししました。今回は当院で行っている治療について、 概略をお話しします。

■集中治療室 (Intensive Care Unit = ICU)

この病気は心臓、肺、腎臓、血液、肝臓など重要な臓器がいくつも働かなくなって生命が危険にさらされるので、同時に集中して治療しなくてはなりません。その治療を行うところを集中治療室といいます。看護師も多く、医療機器類の面倒を見る臨床工学技士も配備され、人工呼吸器などの色々な器械をつけて強力かつ集中的に治療を行うことで命を救います。当院も、最先端の設備と技術を取り入れた集中治療室があり、その認定施設です。

■動注療法

膵炎の注射薬は、静脈点滴しても膵臓までほとんど届きさせん。そこで、「IVR [注]」」があたまを使って、膵臓に薬がしたがはいます。日本で開発された変を膵臓の動脈に入れ、薬を流れないを膵臓の動脈に入れ、薬を流があることが関連いないのですが、シーででは、この治療を積極的にでは、この治療を積極的に行っています。



注)IVR (アイ・ヴイ・アール) = Interventional Radiology (インターベンショナル・ラジオロジー)

エックス線透視や超音波、CTを見ながら体内に細い管(カテーテルや針)を入れて病気を治す新しい治療法で、身体への負担が少なく、病気の場所だけを正確に治療でき、入院期間も短縮できるなど優れた特徴を持っています。

■持続的血液濾過透析(血液浄化療法)

この病気は急性腎不全になりますが、腎不全の患者さんに透析をすることはご存知と思います。集中治療室では、ゆつくりと、良くなるまで何日も続けることで、心臓などへの負担を軽くします。さらに、壊れた膵臓から出た毒素も取り除くことが出来る「持続的血液濾過透析」という方法をとります。血の中にたまった、本来おしつことして出される老廃物以外の、色々な「悪いもの」を取り除き、きれいにした血液を再び患者さんに戻す方法は、「血液浄化療法(アフェレーシス = apheresis)」と言います。血液浄化療法は、もはや救命のためにはなくてはならない治療法で、日本は世界一の技術を持つています。当院もこの専門施設になっています。

■栄養治療(早期経腸栄養)

腸のなかは腸内細菌という菌が元々無数に住み着いており、 実は健康な人は、これらの菌と仲良く共存しています。良い菌 の代表はヨーグルトを作る乳酸菌です(プロバイオディクスと 言います)。 重症急性膵炎の時は腸の粘膜もただれ、働きが悪くなるので、絶食にして点滴だけにすると、腸はもつと弱つて、悪い菌がたまり、悪さをしてしまいます。そこで、鼻から空腸(小腸)まで、細い管を入れておいて、ここから腸の粘膜を守る薬や流動食を入れます。流動食もむしろ食物繊維の多いものが、良いようです(プレバイオティクスといいます。合わせてシンバイオティクスといいます)。

■栄養サポートチーム

どんな病気も、病気と闘うためには栄養が足りないと直りません。そこで、当院では秋田県で最も早く「栄養サポートチーム」という、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、事務系職員など多職種の混成チームを作って、少しでも

多くの患者さんが一日も早くお 元気になられるように援助して います。重症急性膵炎も、とて も栄養の補給が難しいので、こ の栄養サポートチームが深くか かわっています。

この他にも、各科の医師、リハビリテーション科の理学療法士、臨床工学技師、集中治療看護師など多くの病院スタッフがこの病気の治療にかかわり、元気に退院されるよう援助しています。

■手術

膵臓の壊死部 (腐って死んだ

部分)にばい菌がついた場合には、先程ご説明した IVR の技術を使って、体外から化膿部位へチューブを入れて、膿や膵臓の腐った部分を取り除きます。胆石が膵臓の出口を塞いで膵炎が悪化したり、黄疸が進行したりする場合には内視鏡で、胆石を排出させるような手術を行うこともあります。これらの身体に負担をかけない手術を心がけていますが、命を救うため、あるいは助かった後の様々な後遺症のため、開腹手術をすることもあります。これらの手術は専門的な技術が必要で、当院は、これらの手術の専門医がそろっています。

■おわりに

当院では、常にこの様な世界水準の新しい治療法を採り入れて、一人でも多くの方が助かるように努力を続け、8割以上の方が元気にご自宅に帰られて、多くの方がお仕事にも復帰しています。

ただ、お酒が原因でこの病気になられた方は、せつかく助かったのに、また飲酒されると大変です(この病気になると分かっていて、最初から飲まれる方はいませんが)。実は、膵臓は元通りにはならず、その働きはとても低下しています。糖尿病や消化吸収障害が進行し、最悪の人生になり兼ねません。

幸い、当院では7割以上の方が、断酒していただいています。これまでの楽しみを捨て去ることは大変辛いことですが、助かった方々には、どうか新しい人生を見つけて欲しい、と願っています。

「麻しん・風しんワクチン」 第3期・第4期の接種促進について」

2008年度から5年間、中学校1年生(第3期)と高校3年生(第4期)を対象に麻疹・風疹ワクチン接種を公費でおこなっています。現在、1歳台と就学前の2回定期接種をおこなっているので、今回の5年間の処置で現在の高校3年生以下は全員2回接種をおこなうことになります。特に麻しん(はしか)は日本は世界的には制圧されていない数少ない国の一つで、先進国からは「はしかの輸出国」といわれてきました。ワクチンの2回接種でほぼ感染は制御されます。対象学年を過ぎると接種できなくなりますので、できるだけ早く受けるようお願いします。中学生は小児科外来へ、高校生は外科外来へおたずねください。



こごみの会の皆様からクリスマスプレゼントを 贈呈されました。

平成20年12月10日に紀秋田市シルバー人材センターこごみの会の皆様より、脱毛で悩む癌患者の方々へ、タオルでつくったおしゃれな帽子と毛糸で編んだ靴下をクリスマスプレゼントとして

贈呈していただき ました。大切に使 わせていただいて おります。





SUSPINATIONS OF A STATE OF A STAT



平成20年11月29日(出に当院外来ホールでいこいのコンサートを開催しました。

今年で第9回を迎えており、今年は秋田青少年オーケストラや当院職員による演奏のほか、「もみじ」「里の秋」をみんなで合唱するなど楽しい時間を過ごしました。

市立秋田総合病院

理念

●市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

其木方針

- ●患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- ●良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。